

これからを生きる君たちへ

東京都教育委員会指定

進学指導重点校

英語教育推進校

理数研究校

アクティブラーニング推進校

新しい学び研究校

自ら学び 自ら考え 自ら創る

八王子東の探究

RESEARCH & INVESTIGATION

東京都立八王子東高等学校

「知りたくて」その知的好奇心を確かな学力に

特色(2019から予定)

- 「問い」の出し方や学びの深め方、協働的を姿勢を磨く1年次探究基礎
- 表現力・論理的思考力の基盤を築く国語探究
- 大学の研究室や企業と連携した1年次課題解決プロジェクト
- 調査研究、論文作成、成果発表を行う2年次課題研究
- 幅広い視野から論理的思考力を高め、難関大入試に対応したカリキュラム
- オンライン学習システムを活用した学習指導

「問い」から始まる学びは、内容を優れたものに、日々の授業を楽しく充実したものにしてくれます。

AI（人工知能）の進歩、流動的な社会の中で必要とされる力は、まさしく自ら「問い」を設定し、その答えを探り出すことや、知識や考え方を組み合わせて課題の解決策を創造し、他者と協力して実現する力です。

これまでも各界のリーダーを送り出してきた八王子東は、将来活躍する人材を育てるべく探究活動を本格的に実施していきます。

写真上・中：テーマに対する「問い」を表現するポスターセッションの様子

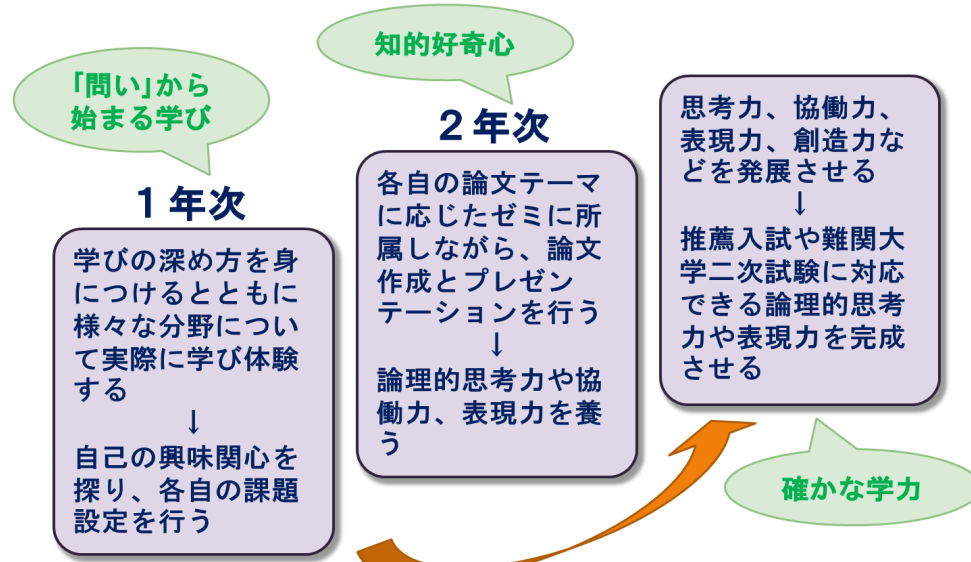
写真下：様々な分野で本物に触れるフィールドワーク



3年間の取り組み

八王子東が育てる8つの力

- 思考力
- 発信力
- 創造力
- 想像力
- 実践力
- 協働力
- 意志決定力
- 人間理解力



「問い」から始まる学び

知的好奇心

1年次

学びの深め方を身につけるとともに様々な分野について実際に学び体験する

↓

自己の興味関心を探り、各自の課題設定を行う

2年次

各自の論文テーマに応じたゼミに所属しながら、論文作成とプレゼンテーションを行う

↓

論理的思考力や協働力、表現力を養う

思考力、協働力、表現力、創造力などを発展させる

↓

推薦入試や難関大学二次試験に対応できる論理的思考力や表現力を完成させる

確かな学力

八王子東高校では探究活動を推進しています。



今、社会は急激に変化しつつあります。グローバル化の進展、AIに代表される科学技術の急速な進歩、超がつくくらい激しい少子高齢化、いずれもこれまで人類が経験したことのない新たな事態です。この変化の激しい時代の中をしなやかにたくましく生き、リーダーとなって社会に貢献できる人間を育てることが、八王子東高校のミッションです。

本校は、生徒の皆さんを自らの力で伸びようとする「新しい芽」と考え、その芽を大切に生徒一人一人の可能性を最大限まで伸ばすことを目指して、様々な教育活動を展開してきました。開校以来多くの先輩たちが、この八王子東高校での質の高い授業を中心とした学習活動、入学時から卒業時を見据えて計画的に行われる進路指導、生徒が主体的に取り組む学校行事や部活動などを通して、自らの能力を開花させ、それぞれが抱く高い志を自分のものとしてきました。

本校は今年度より、これまで大切にし、また実績を上げてきた様々な教育活動に加え、新たに探究活動を計画的に実施することとしました。探究活動を通して生徒一人一人が自ら課題を見つけ、教科や科目を超えた知識を活用し、論理的に分析することを通して解決策を導き出す力やその成果を分かりやすく他者に伝える表現力等を身に付けることをねらいとしています。今後もこれらの取り組みをさらに発展させ、生徒が、変化の激しい社会の中でその能力を存分に発揮することができるよう努力していきます。

八王子東高校には多彩な能力をもった個性豊かな生徒がたくさんいます。そして学習活動、学校行事、部活動などの場で生徒一人一人が輝ける舞台があります。皆さんもぜひ八王子東高校で、将来の夢の実現に向けて素晴らしい仲間と一緒に自分を磨き高めてください。

東京都立八王子東高等学校 統括校長 宮本 久也

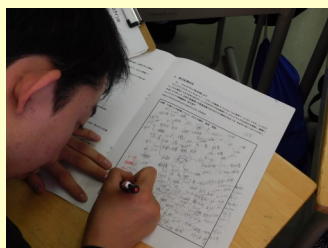
2018年度入学生の声



●今まで人に考えてもらっていたことを強く痛感した。これからは自分で考え、学び、創り上げて、より深い理解ができるように頑張りたい。



●あまりやったことがないものだったので慣れないことばかりでした。だけど色々な人の自分とは違う考えを知ることはとても面白かったです。これから回数を重ねてものを考えたり発表をスムーズにしたいです。



●今まで、受験勉強などでは、受け身でやる作業が多かったが、これからは、自分で考えていかないといけない。自分で考えてみることで、新しい発見や自分のやりたいことが見付き、自分が深まっていこうと思った。

●私は三日間の「探究オリエンテーション」で、問いを見つけることの難しさと誰かと意見を共有することの楽しさを知りました。「問い」に対してさまざま質問をしていく活動では、なかなか質問が思い付かず、普段の会話がいかに雑なものだったかを痛感しました。相手の話をよく聞き、それに興味や疑問をもって、さまざまな質問をする、というように、何気ない会話の中でも探究の姿勢を持ちたいです。